

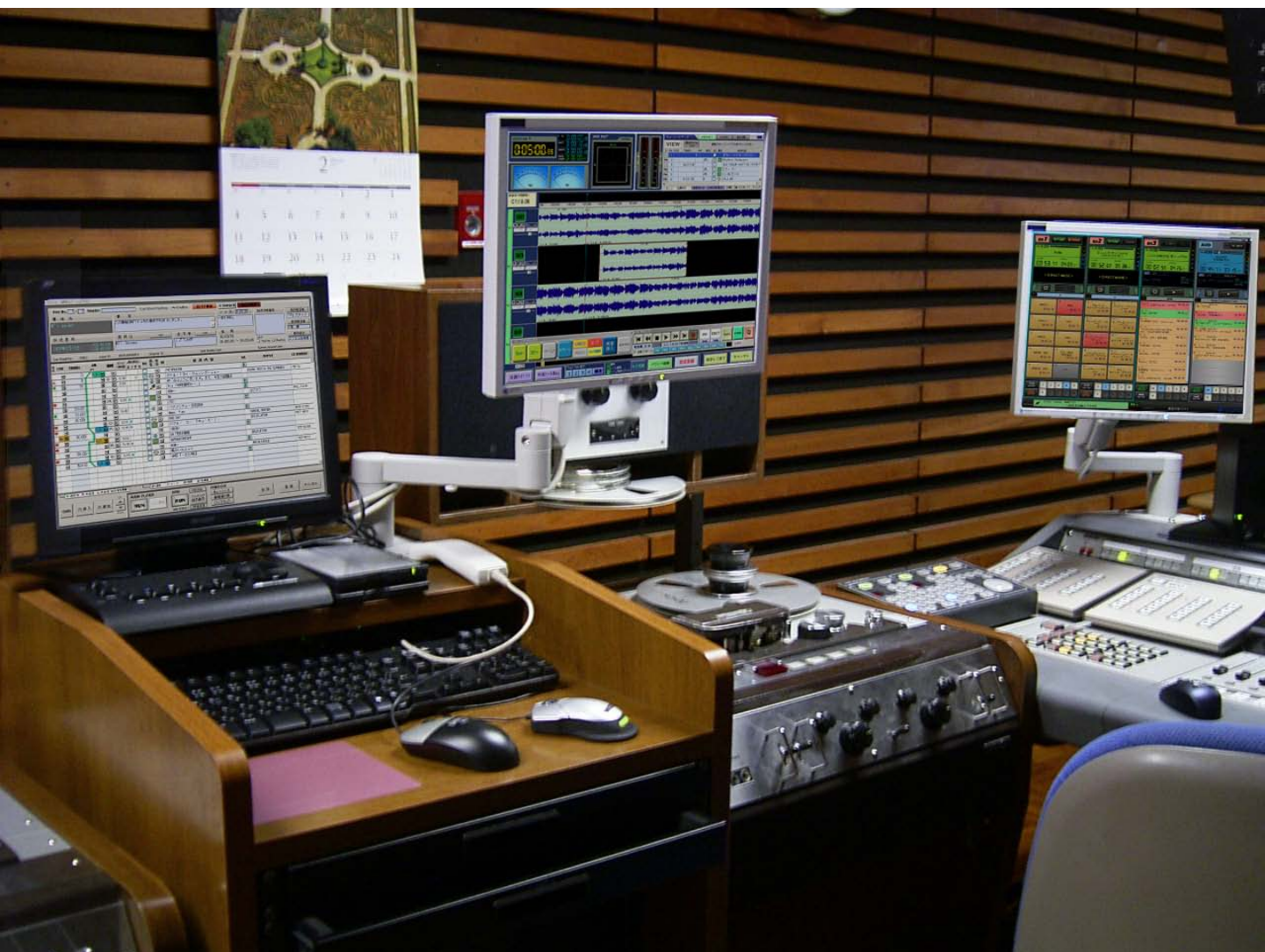
スタジオシステム導入設置例

(株)エフエム北海道様

(株)エフエム北海道様に、スタジオシステム「ポン出しシステム」「DAWシステム」「デジタルキューシートシステム」(および管理システム「CD室ライブラリ・デジタル音源ライブラリシステム」)をご導入いただきました。

DBサーバーで素材情報、サウンドサーバーで音声ファイルを管理し、各スタジオ設置のクライアント端末でキューシート作成、録音番組および番組素材の音声ファイル録音・再生・編集を行います。

全システムを連携させ、キューシートシステムは番組情報を管理、ポン出しシステムはOA3系統出力+オーディション1系統出力、DAWシステムは2系統入力+1系統出力を備え、より効率的な番組作りを可能にしています。



ポン出しシステム

音源サーバー内に保存されている音声ファイルを検索し、ボタンにアサイン、もしくはリスト作成し、再生するシステムです。



<特徴>

① 出力系統

音声の出力・入力系統数はカスタマイズにより増減が可能です。
各OAチャンネルごとにオーディション機能を持ち、オンエア中に別素材のオーディションが可能となっています。

② 再生モード

各チャンネルごとに「ポン出しモード」と「SEQモード」のモードを切り替えて再生します。
<ポン出しモード>ポン出しボタンが表示。ポン出しボタンに割り当てられた素材をクリックすると再生します。
<SEQモード>シーケンシャルリスト表示。設定されたリストに従い順出して再生するシーケンシャル送出です。
音声卓との接続機能の追加も可能です。

③ 素材アサイン

音声ファイルは、基本的に、音源サーバー内で管理されている素材を検索し、割り当てます。
各ページに素材アサインするボタン・リストの数、ページ数の設定は、カスタマイズにより増減が可能です。

④ その他オプション

- ・オーディションチャンネルにて、再生開始位置を設定(頭だし設定)が可能です。
- ・ポン出しシステムボタンと同様機能のボタンをBOXに配備しボタン制御による再生開始が可能です。
- ・録音機能、簡易編集機能により、音声を録音、カット・コピー等の編集が可能です。
- ・外部メディア(MOや他の媒体)への音声ファイル出力および入力が可能です。
- ・弊社他システムとの連携が可能です。(デジタル音源ライブラリシステム・デジタルキューシートシステム等)
- ・モードを設定することにより、再生の一時停止/再開が可能です。(PAUSEモード設定機能)

DAWシステム

放送用録音番組の録音・編集システムです。キューシートシステムから取得する番組情報をもとに録音を開始します。編集は、最大ステレオ16CHまで可能なマルチトラックの音声非破壊編集です。



<特徴>

音声データの安全性を保ちつつ、直感的で簡単な編集を可能です。操作性および編集の多彩な機能を追求した独自の技術を開発しております。

① 録音機能

アナログ入力／デジタル入力可能、追加録音、聞き押し録音、同時マルチチャンネル録音（入力系統数は別途検討）追加録音時の重なり分の音声データは、バウンスされるまで非破壊です。

② 再生機能

マルチチャンネルMIX再生、素材オーディション、ループ再生、スキップ再生、リハーサル再生、速度変更等

③ 編集機能

基本機能; カット、コピー、ムーブ、トリミング（戻し部分の引きずり出しによる復活）、セパレート、リージョンのグループ化、マージ、LEVELコントロール、無音挿入等。専用リモートBOXの設置。

オプション機能; エフェクター（リバーブ、ディレイ、リバーブス、タイムストレッチ・ピッチシフト等）

④ その他

- ・デジタル音声ライブラリシステムからのファイル取り込み・外部メディアからのファイル取り込み
- ・Q設定・スタートマーク設定・マーク設定
- ・番組ごとの容量管理、保存最大容量の設定が可能

⑤ DAF/EDPSシステムとの連携

キューシートシステムとの連携; 番組情報はキューシートシステムから送信されます。DAWのエディット情報をキューシートに送り、キューシート情報の自動入力・更新をおこないます。録音・編集終了後は、バウンス（ファイル1本化処理）を行い、BWF-Jファイルを生成・送信され、DAFへの登録が完成されます。